

10代の子どもたち(中高生)の子育て支援ボランティア養成事業

北海道

8講座

実施団体 特定非営利活動法人 こども・コムステーション・いしかり
 実施日 2004年12月26日(日)・27日(月) 参加人数 のべ120名

	日時	講座名	講師
講座1	12月26日(日)	「子育て支援の現状」	土屋 美恵子氏 NPO法人日本子どもNPOセンター専務理事 武蔵野市議会議員 NPO法人保育サービス ひまわりママ前理事長
		最初の講座で緊張している10代の子どもたちにアイスブレイクで始まる。受講している子どもたちの子育てに対する考え、イメージを受け取り、個々の子育てを聞きあつた。	
講座2	12月26日(日)	「今もとめられているもの」	土屋 美恵子氏 NPO法人日本子どもNPOセンター専務理事 武蔵野市議会議員 NPO法人保育サービス ひまわりママ前理事長
		今子育てをしている当事者の現状を、たくさんの実例とともに聞いた。	
講座3	12月26日(日)	「いのちはどこから」	安達 倭雅子氏 NPO法人チャイルドライン支援センター 常務理事
		正しい「性」の知識とともに、真正面から「性」についての話を聞いた。	
講座4	12月26日(日)	「いのちの大切さ」	安達 倭雅子氏 NPO法人チャイルドライン支援センター 常務理事
		色々な情報に感わされず、「いのちをつくる性」について話を聞いた。	
講座5	12月27日(月)	「こどもの心と体の発達」「あそびやうた」	坪田 清美氏 石狩市えるむ保育園園長 石狩市地域子育て支援センターセンター長
		赤ちゃんの月令の発達を知るとともに、どんな視点をもって接するかを学んだ。	
講座6	12月27日(月)	「赤ちゃんタッチケア」	廣瀬 芳江氏 石狩市保健婦
		等身大の人形の赤ちゃんを抱いてみた。首のすわりや体重の感覚、布おむつ、衣服の着脱等の体験ができた。	
講座7	12月27日(月)	「命の声を聴く 自己尊重ワークショップ ～フィーリング トレーニング～」	手塚 千砂子氏 NPO法人自己尊重プラクティス協会代表理事 心のレッスンルーム「心のジム テツカ」主宰
		初めて耳にした「自己尊重(セルフエスティーム)」とはどのようなことかを聞いた。	
講座8	12月27日(月)	「命の声を聴く 自己尊重ワークショップ ～ラブライフ トレーニング～」	手塚 千砂子氏 NPO法人自己尊重プラクティス協会代表理事 心のレッスンルーム「心のジム テツカ」主宰
		ゆったりとした時間の中で自分自身のすべてを肯定し、お互いも認め合えることの大切さを確認できた。	



体験ボランティア

実施団体 特定非営利活動法人 こども・コムステーション・いしかり
 実施日 2005年1月6日(木)・11日(火)・13日(木) 参加人数 のべ22名

	日時	場所	内容
実践1	1月6日(木)	石狩市えるむ保育園	2歳未満のクラスに参加した。園児の毎日の習慣があり、集団行動が徹底していた。
実践2	1月11日(日)	とんとん広場	0歳から3歳が中心だが冬休みのため幼稚園の兄弟も参加していた。
実践3	1月13日(木)	子育て広場とりとつき	4ヶ月から3歳が中心、子どもだけでなくおおかあさんもいっしょにあそんだ。

事業を終えて

●広報の方法

開催地「北海道」として参加募集を道内にどのように伝えるか思案した。全道の高校(道立、市立、私立、通信)337校、石狩支庁内中学校、札幌市北区内中学校にポスター、開催要項、学校長への趣旨説明、生徒さんへの案内を依頼文とともに送付した。北海道各支庁や図書館へポスター掲載も依頼した。高校からの問い合わせ(特

にボランティアクラブをもつ)や資料が欲しいというところも多かったが、年末、受験のこともあり、実際の参加にはつながりにくかった。その中で、石狩市からはもとより遠方から複数の高校生の参加が得られた。遠方からの参加者は、全員、「子ども」に関わる進路をとった高校生で、子どもに対してのスキルを得たいとの思いが多かった。

●座学と実体験の有効性について

今回のプログラムの構成は、

1. 命の尊重 2. 子育ての現状と支援のあり方 3. 子どもの成長や保育の実務講習

4. 命と向きあう「セルフエスティーム」とした。中学生・高校生を対象とした今回のよう

な講座は、あらゆる面での個々人の理解格差はあり、一概に年齢と比例するものでもないが、座学においては、多少の理解度の違いは感じ取れた。しかし、実習においては、一人ひとり、それぞれの目線で子どもたちへの接し方ができていた。



いのち

「生命と向きあう」というテーマに対する考察

「いのちはどこから」「いのちの大切さ」の受講にあたり参加者の10代の子どもたちは、子育て支援の対象となる赤ちゃんが母胎の中でどう成長し、出産されるのかといった学校でみられる性教育を予想していたようだったが、安達講師は参加者自身が真正面から自分自身の性を見つめ、自分の性としてしっかり向きあうことを子どもたちに促した。また、「性」についてストレートに子どもと向きあって話せるおとなは、ほとんどいないこともわかった。



●地域の特徴

北海道という広範囲の地域を対象としたため、8講座を受講してもらうには講座を二日連続にする必要があり、それに伴い宿泊が必要となった。当初、遠方からの参加者のための宿泊と考えていたが、真冬で悪路ということもあり石狩市内や近隣からの受講者からも多くの宿泊希望があった。

講師から受講者、受講者から講師への意見交流はあるが、受講者同士の意見交流が、今回、宿泊した10代の子どもたちの中でできていたことが終了後にわかった。

受講者どうし講座の中で疑問に思ったこと、それぞれのとらえ方の違いを知ることができる「ふりかえり」の場をもつことができたようだ。「夕食後に講座の内容をみんなで復習し、それぞれの考えを知ることができて良かった」との感想があったことは、合宿型の講座も一考かと思う。



子どもたちは、雑誌、マスメディア、IT等を介した「性の情報」をうのみにししたり、逆にあえて全くふれないようにしている自分自身に気づいたようだった。受講後のアンケートにも「性」に対しての考えが変わったことを全員が答えていた。「命をつくる性」を子どもたちは、「親から自分、自分から子へと受け継ぐ命」として、しっかり見つめられたようだった。

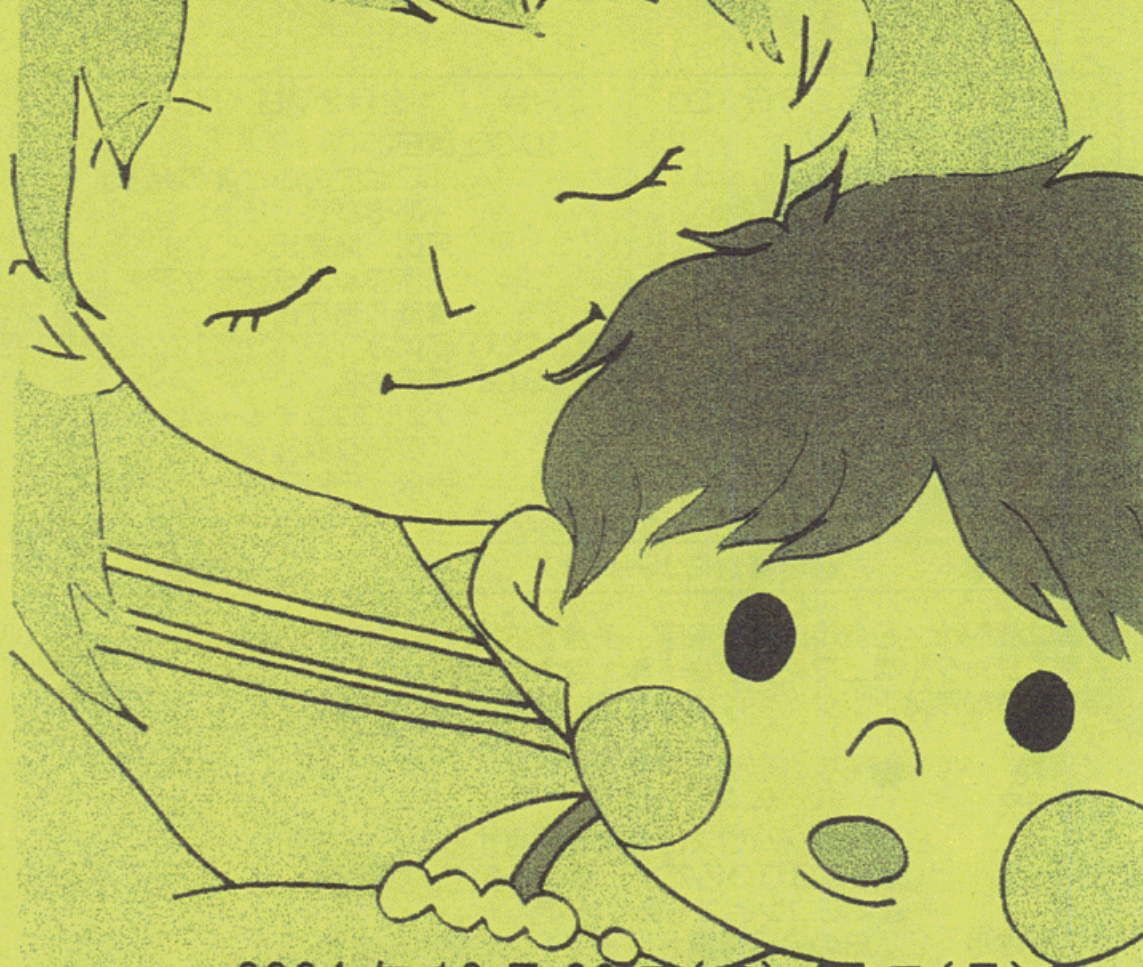
アンケートの中に、「今すぐに子育て支援に携わることができなくても、一人の人として、おとなになり親となるのだから、今回のような講座を中高生全員が、受講すべきだ。」という意見が全員からでていたのは、講座内容が10代の子どもたちに受け入れられたと考えられ嬉しく思った。



開催のご案内

中高生の子育て支援 ボランティア養成講座

~子どもとふれあい、あそびや保育のスキルをみにつけよう~



日時：2004年12月26日(日)・27日(月)

場所：藤女子大学 花川キャンパス 藤学園セミナーハウス

主催：特定非営利活動法人 子ども劇場全国センター

協力：特定非営利活動法人 こども・コムステーション・いしかり

後援：北海道教育委員会 札幌市教育委員会 石狩市教育委員会

この事業は独立行政法人福祉医療機構(子育て支援基金)の助成により行うものです。

10代の子どもたち(中高生)の 子育て支援ボランティア養成講座

ちっちゃい子とあそぼ!

日時

12月26日(日)

AM10:00~PM5:00

12月27日(月)

AM10:00~PM5:00

会場

藤女子大学 花川キャンパス
(石狩市花川南4条5丁目)

対象 中学生・高校生 30名
受講料 無料

主催 特定非営利活動(NPO)法人
子ども劇場全国センター

協力 特定非営利活動(NPO)法人
こども・コムステーション・いしかり

後援 北海道教育委員会
札幌市教育委員会
石狩市教育委員会

この事業は独立行政法人福祉医療機構(子育て支援基金)の助成により行うものです

NPO法人こども・コムステーション・いしかり

お問い合わせと

資料請求は

TEL・FAX 0133-64-5640

Eメール comstation.ishikari@m2.dion.ne.jp

いのちの声をきく
セルフエスティームトレーニング・
保育に役立つあそびや知識が
保活に役立つ講座と実習!

人形を使ってあかちゃんへの
タッチケア体験

子育て支援の
ボランティア養成講座

10代 東京都

子どもたち(中高生)の子育て支援ボランティア養成事業

8講座

実施団体 ゆう³ 武蔵野市テンミリオンハウス運営団体
 実施日 2005年1月7日(金)～9日(日) 参加人数 のべ157人

	日時	講座名	講師
講座1	1月7日(金)	「オリエンテーション・保育とは?」	土屋 美恵子氏 NPO法人日本子どもMPOセンター専務理事 武蔵野市議会議員 NPO法人保育サービス ひかりママ前理事長
		10代の子どもたちが実際に保育するにあたっての心構えや、子どもや、保護者に関わる姿勢を事例・実技を通して伝え、且つ子どもたちが子育てサポーターとなることの必要性について学んだ。	
講座2	1月7日(金)	「子育ての現状」	土屋 美恵子氏 NPO法人日本子どもMPOセンター専務理事 武蔵野市議会議員 NPO法人保育サービス ひかりママ前理事長
		10代の子どもたちの育ちをふりかえりながら、現在の親の育ちの社会背景や現在の子育て状況をたくさんの事例を通して知った。	
講座3	1月8日(土)	「命の声を聴く 自己尊重ワークショップ ～フイーリング トレーニング～」	手塚 千砂子氏 NPO法人自己尊重プラクティス協会代表理事 心のレッスンルーム「心のジム テツカ」主宰
		自分自身を構成するたくさんの細胞に対する感謝、また自分を取り巻く小さな1つ1つの事柄を再認識し感謝の思いに気づいた。	
講座4	1月8日(土)	「命の声を聴く 自己尊重ワークショップ ～ラブライト トレーニング～」	手塚 千砂子氏 NPO法人自己尊重プラクティス協会代表理事 心のレッスンルーム「心のジム テツカ」主宰
		10代の子どもたち同士が互いにそれぞれの良さを認め合い相手に伝えるという体験は、自然に自己肯定へと繋がった。また自分自身の体を使ったワークショップは初体験でもあり新鮮な感覚を味わった。	
講座5	1月9日(日)	「子どもの世話」	金子 ふみ氏 助産師
		0歳～6歳まで子どもの心身の発達に即した特長や注意事項などについて月齢を遡って、丁寧に学んだ。	
講座6	1月9日(日)	「子どもの遊び」	小林 奈央氏 助産師
		手作りおもちゃの作成、牛乳パックを使った替わり絵・絵本作りを楽しく作成した。	
講座7	1月9日(日)	「命の大切さ」	宮武 亜希子氏 武蔵野市保育課地域子育て支援推進担当
		実物大の胎児人形を見ながら胎児の成長過程と同時に、ビデオで初めて見る出産シーンを通し、命の大切さを学んだ。	
講座8	1月9日(日)	「赤ちゃんからの発達・安全」	熊澤 貞子氏 武蔵野市保育課子育て支援推進担当
		妊婦体験、新生児人形を使用しての沐浴体験、着替え、オムツ替えを実際に体験した。	



体験ボランティア

実施団体 ゆう³ 武蔵野市テンミリオンハウス運営団体
 実施日 2005年2月5日(土)・6日(日) 参加人数 のべ50名

	日時	場所	内容
実践1	2月5日(土)	武蔵野市民会館 保育室	8ヶ月～6才までの子どもたちを預かった。会場は保育室でおもちゃもそろっていましたが、粘土をしたりゲームをしたりした。
実践2	2月6日(日)	武蔵野市民会館 保育室	5ヶ月～4才までの子どもたちを預かった。昨日と同様、保護者は、トークでリフレッシュした。

事業を終えて

広報は、中学校3校に全校配布、高校2校にポスター・チラシをおかせていただきました。また主要な公共機関に掲示・配布することにより、10代の子どもたちが子育て支援に関わっていく意義や子育て支援への関心を多方面から頂ける良いチャンスだと思ってお願ひしたほか、地元ケーブルテレビでも放映しました。しかし冬休み中とはいえず受験シーズン真っ只中という間の悪さもあり、応募してきた10代の子どもたちはほとんどが口コミでした。

保育ボランティアの実践実施をする際の広報では、預かりのみでなく保護者を対象としたイベントも組んだ為、見た人が混乱しないように、且つ10代の子どもたちが保育をすることの意義もアピールできるよう十分配慮しました。事業実施にあたり、武蔵野市民社会福祉協議会の後援を頂いたり、保育課の職員の方がボランティアで講師をしてくださったりと、多方面の方々の積極的なご支援をいただき感謝しております。

参加した子どもたちのアンケートによると座学より体験の部分がやはり楽しかったようです。おとなにとっては易しい聞きなれた内容でしたが、難しい所もあったようでより噛み砕いた内容が必要だろうと思います。子どもたちの真摯

な保育の様子をみて、私たちスタッフも改めて保育の楽しさを感じることができました。今後も保育ボランティアの活動をしたいという思いに繋げることができ嬉しく思いました。

いのち 「生命と向きあう」というテーマに対する考察

乳幼児と関わりたいと思っている、非常に素直で真剣な10代の子どもたちと出会えたことは大変嬉しいことです。東京各地から集まった子どもたちは初対面の上、異年齢集団であり緊張していましたが、講師のリードするゲームによって笑顔がみられるようになりました。子育ての現状を聞きながら自分自身の生き立ち、両親の姿を回想していたことでしょう。子どもたちにとって大きな峠である両親との相互理解に、一役かったのではないのでしょうか。

自己尊重ワークショップでは、新鮮な体験と共に自己や他に対して抱いているプラスの思いを言葉にしていくことの大切さを、恥ずかしそうにしながらも嬉しそうに学びました。

また、胎児人形を持つことでイメージではない実際の重さを体感しました。出産シーンのビデオでは、初めて見て、自分が生を受けた瞬間、多くの人の思いと手があったことを知りました。誕生から幼児に至るまでの奇跡的な発達過程に驚き、世話をする際の注意事項では気の遠くなるほどの

独立行政法人福祉医療機構(子育て支援基金)助成事業

子育て真っ最中のママとパパ、
仲間との出会いの中からリフレッシュしませんか？

ママパパ・ちびっこ 大集合！！

お子様は託児所で楽しく過ごします。保護者の方はトーク&ティータイム。

コーディネーター：武蔵野市保育課地域子育て支援推進担当

10代の子どもたちが「子育て支援ボランティア養成講座」で学んだ成果を生かしたいと思っています。大人の専門スタッフもついておりますので安心してお預け下さい。

乳幼児にとっては、より親近感のわく10代の子ども達は発達の上で魅力あるものです。また、10代にとって心もからだも大人になっていくこの時期に乳幼児と接することが人間に対する理解感を育みます。

日 時：2月5日(土) 9:50~11:50
2月6日(日) 10:30~12:30

場 所：武蔵野市民会館 託児室
(武蔵野市境2-7 武蔵境駅北口より徒歩5分)

対 象：3か月~3歳未満のお子様と保護者。

参加費：100円(保険料含む)


定 員：両日とも子供21名(合計42名先着順。定員に達し次第締め切り。両日参加不可)

申込先：1月27日10:00よりメール・電話にて受付開始。

E-mail: i-a-hiro_105@zshk.na.jp(希望日・お子様の氏名・住所・電話番号・生年月日をご入力して下さい)

電話：090-9304-5970(佐藤) (電話番号を必ず表示して下さい。)

問合せ：上記電話番号で。



- *主催：独立行政法人福祉医療機構(子育て支援基金)助成事業
- *協力・実施団体：ゆう! 産婦
- 武蔵野市デンシオンハウス運営団体(3月オープン)
- *後援：武蔵野市民社会福祉協議会
- 独立行政法人福祉医療機構(子育て支援基金) ひまわりママ

独立行政法人福祉医療機構(子育て支援基金)助成事業

10代の子どもたちの 子育て支援ボランティア養成講座 ～中高生の保育体験～

将来子どもに関する仕事をしたいと考えているあなたに、将来のことはまだわからないけど、赤ちゃんが可愛いな、子どもと遊ぶのが好きだ、何かボランティアをしてみたいな・・・と思っているあなた、一歩踏みだしてみませんか？

日程と講座内容＜全8講座＞

1日目:1月7日(金)10時~13時 「オリエンテーション、保育とは?」「子育ての現状」

2日目:1月8日(土)15時~18時 「自己尊重」「ワークショップ」

3日目:1月9日(日)10時~16時30分 「子どもの遊び」「子どもの世話」「命の大切さ」「赤ちゃんからの発達・安全」

*保育体験実施を2月に予定しています。

対 象：中学生・高校生


開 催 場 所：NPO法人 保育サービス ひまわりママ 2Fホール

参 加 費：無料

定 員：30名(先着順。定員になり次第バツ)

申 込 方 法：電話にて

申 込 問 合 せ：0422-32-5034(永上) 090-1075-9962(土屋)
090-9304-5970(佐藤)



- *主催：独立行政法人福祉医療機構(子育て支援基金)助成事業
- *協力・実施団体：ゆう! 産婦
- 武蔵野市デンシオンハウス運営団体(3月オープン)
- *後援：武蔵野市民社会福祉協議会
- 独立行政法人福祉医療機構(子育て支援基金) ひまわりママ

人の手と深い愛情が注がれていることに気がついたようです。妊婦体験、沐浴、オムツ替え等ではすっかりお父さん・お母さん気分でもっと真剣に技術の習得をしました。手作りおもちゃを作る際には「これで遊んでくれるかな?」と心配そうにしていたのですが、センスのよい作品に仕上げていました。

このようにして一つ一つの講座をそれぞれが良く受け止め、又実際にボランティア体験する中で自分自身の生命の重みを感じる時に、他の人の生命の重みにも気づいたことでしょう。保育しながら子どもの表情や声を味わい、重さや柔らかさや暖かさを感じると同時に、いつも自分の思うようにはいかないことを知りました。また子どもと遊ぶ楽しさ、世話をするという自分で自分がしてあげることの気持ちの良さも味わいました。「いろいろやってみたら笑ってくれて嬉しかった!」と異口同音に語る中高生はまさしく一つの生命と懸命に向きあい、心の中に大きなうねりが起きたようです。

10代の子どものための

子育て支援ボランティア養成講座

～中高生の保育体験～

将来子どもに関する仕事をしたいと考えているあなたに、将来のことはまだわからないけど、赤ちゃんが可愛いな、子どもと遊ぶのが好きだ、何かボランティアをしてみたいな・・・
と思っているあなた、一歩踏みだしてみませんか？

日程と講座内容＜全8講座＞

- 1日目:1月7日(金)10時～13時 「オリエンテーション、保育とは？」
「子育ての現状」
2日目:1月8日(土)15時～18時 「自己尊重」「ワークショップ」
3日目:1月9日(日)10時～16時30分「子どもの遊び」「子どもの世話」
「命の大切さ」「赤ちゃんからの発達・安全」

*保育体験実施を2月に予定しています。

対象	中学生・高校生
開催場所	NPO法人 保育サービス ひまわりママ 2Fホール
参加費	無料
定員	30名(先着順。定員になり次第×切)
申込方法	電話にて
申込・問合せ	0422-32-5834(水上) 080-1075-9962(土屋) 090-9304-5970(佐藤)

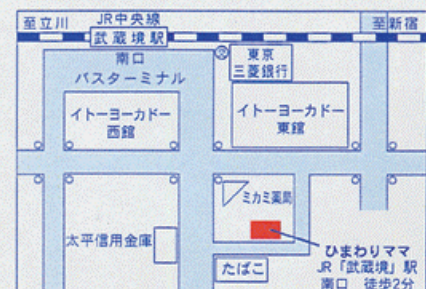
*主催：特定非営利活動法人 子ども劇場全国センター

*協力・実施団体：ゆう³ 

武蔵野市テンミリオンハウス運営団体(3月オープン)

*後援：武蔵野市民社会福祉協議会

特定非営利活動法人 保育サービス ひまわりママ



子育て真っ最中のママとパパ。

仲間との出会いの中からリフレッシュしませんか？

ママパパ・ちびっこ 大集合!!

お子様は託児所で楽しく過ごします。保護者の方はトーク&ティータイム。

コーディネーター：武蔵野市保育課地域子育て支援推進担当者

10代の子どもたちが「子育て支援ボランティア養成講座」で学んだ成果を生かしたいと思っています。大人の専門家スタッフもついておりますので安心してお預け下さい。

乳幼児にとっては、より親近感のわく10代の子ども達は発達の上で魅力あるものです。また、10代にとっては心もからだも大人になっていくこの時期に乳幼児と接することが人間に対する信頼感を育みます。

日時：2月5日(土) 9:50~11:50

2月6日(日) 10:30~12:30

場所：武蔵野市民会館 託児室

(武蔵野市境2-3-1 武蔵境駅北口より徒歩5分)

対象：3か月～就学前のお子様と保護者。

参加費：100円(保険料含む)

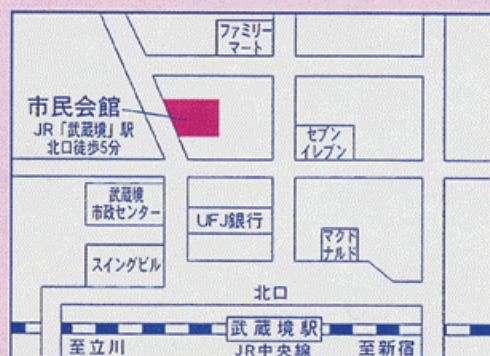
定員：両日とも子供20名(合計40名先着順。定員になり次第締め切り。両日参加は不可。)

申込み：1月27日10:00よりメール・電話にて受付開始。

E-mail:s-hiro.705@ezeb.ne.jp(希望日・お子様の氏名・住所・電話番号・生年月日を必ず記入して下さい。)

電話：090-9304-5970佐藤(電話番号を必ず表示して下さい。)

問合せ：上記電話まで。



*主催：特定非営利活動法人 子ども劇場全国センター

*協力・実施団体：ゆう³ @

武蔵野市テンミリオンハウス運営団体(3月オープン)

*後援：武蔵野市民社会福祉協議会

特定非営利活動法人 保育サービス ひまわりママ